

研究課題(テーマ)		医薬品工学科のキャリア形成支援	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	医薬品工学科	教授	村上 達也
研究結果の概要			
<p>本学科では、2017(平成29)年4月の学科創設から、卒業生の県内製薬産業を担う人材育成を目指して教育を行ってきた。2021(令和2)年に、最初の学部卒業生(1期生)を送り出した。大学院に進学しなかった就職希望学生15名中13名が製薬関連企業に就職し、そのうち8名が富山県に本社を置く会社であった(12名が富山県に勤務)。2期生の就職希望学生17名中14名が製薬関連企業に就職し、そのうち10名が富山県に本社がある会社であった(13名が富山県に勤務)。3期生の卒業生36名のうち、就職希望学生16名中14名が製薬関連企業に就職し、そのうち9名が富山県に本社を置く会社であった。</p> <p>2023(令和5)年度の卒業生(4期生)の卒業生33名のうち、就職希望者12名中7名が製薬関連企業に就職し、そのうち4名が富山県に本社を置く会社であった(7名が富山県に勤務)。生物・医薬品工学専攻を卒業した(医薬品工学科出身)大学院修士2期生23名のうち、就職を希望した22名中12名が製薬関連企業に就職し、そのうち富山県に本社を置く会社が0名(富山県勤務5名)であった。そして1名が本学の博士後期課程に進学した。</p> <p>2023年度に開始した活動として、株式会社ユニバースクリエイトと協力して医薬品工学科生専用就活ウェブサイトの立ち上げがある(他国立大学に先行事例あり)。本ウェブサイトは2025年度卒生(医薬品工学科研究室に配属されている3年生41名および修士1年生10名)を対象としている。年度末時点での総閲覧回数は100回を超えており、繰り返し利用されていることがわかった。</p> <p>これらの実績により、当初の目的は達成出来たものと考えられる。</p>			
今後の展開			
<p>まだしばらくの間は、研究室配属学生が被ったコロナ禍の影響を慎重に見極めながらキャリア形成支援を行う必要があると思われる。同時に多様な対面学外活動を紹介しながら、学生が多様な価値観、進路、仕事を体験する機会を引き続き提供していきたい。</p>			